

第6号様式（第5の2関係）

議事概要

会議名	令和7年度 第2回屋久島警察署協議会	
会議日時	令和7年12月1日（月曜日） 午後1時30分～午後3時30分	
会議場所	屋久島警察署 会議室	
出席者	1 署協議会	会長以下 4人
	2 署	署長以下 7人

【会議の概要】

- 1 開会
- 2 会長挨拶
- 3 新転入者挨拶
- 4 協議
 - (1) 概況説明
 - (2) 質問・答申
 - (3) 意見・要望
- 5 山岳遭難救助関係の装備資機材及び訓練状況の視察
- 6 閉会

【概況説明に対する質疑・応答】

- （委員） 口永良部島での広聴会に関する説明があったが、口永良部島ではどのような活動を行っているのか。
- （回答） 宮之浦交番員が月1回、巡回連絡や警戒を行い、島民から意見を吸い上げている。また、年1回、広聴会を行い、島民との意見交換の場を設けている。
- （委員） 吉田地区では、空き家対策として近隣同士で連絡を取り合い、転出、転入を把握するようにしている。最近、大人がヘルメット未着装で自転車に乗車したり、中央線寄りを走行している状況を見かけて危ないと感じている。
- （回答） 以前は、免許更新時だけでなく、地区の人を集めて法令講習を行ってもらっていたが、同様の講習やナイトスクール等をしてもらえないか。
- （委員） 免許証の更新時講習だけでなく、企業向けの法令講習を行っている。講習やナイトスクールを行うことは可能であるため、要望があれば、計画して実施したいと思っている。
- （回答） 以前、道路上にパイロン等を設置し、片側交互通行にして作業を行っていた際、高齢者が運転する車だったと思うが、パイロンをなぎ倒して、作業をしている方の道路に進入し、そのまま走り去って行った。
- （委員） この時は車のナンバーを確認していなかったため、通報していないが、このような時でも警察に通報してもよいものなのか。
- （回答） 損害があれば、事故として処理することができるため、通報してもらいたい。道路上で作業する際は、高齢者等にも分かりやすいような道路標示に努めてもらいたい。
- （委員） 10月頃に私が経営しているホテルに、国の取締機関を名乗った電話が架かってきた。
- （回答） 宿泊者の情報を入手したくて、そのような詐欺の電話を架けてきたのではないかと思う。
- （委員） このような詐欺の電話もあるので、注意した方がいいと思う。
- （回答） 警察では、必要があれば文書を作成して、適正な手続を執って、情報の提供を受けるようにしている。
- （委員） 今後も、素性の分からない者からの依頼等には十分に注意して欲しい。
- （回答） 地区の人から「知らない番号から電話が架かってきた。」といった相談を受けることがあるが、その際、「無視していいよ。」などと助言している。
- （委員） 今後も同様の相談を受けた際に、このような助言をしていいのか。
- （回答） 現在、詐欺の電話が多いため、知らない番号から電話が架かってきた際は、無視してもらって構わない。
- （委員） 詐欺被害防止に関する講話等をすることも可能であるため、要望があれば早めに連絡してもらえば、計画を立てて実施したいと思う。
- （回答） 講話を依頼する日は休日等でも対応してもらえるのか。
- （委員） 早めに連絡をしてもらえば、休日であっても勤務調整をして、実施するこ

とは可能である。

【諮詢・答申】

諮詢 年末年始の警戒活動について

年末年始における警戒活動については、12月10日から1月10日までの間、交通事故防止運動と合わせて各地でキャンペーンを実施予定である。

活動内容としては、開始日である12月10日に交通安全母の会を主体とし、役場、警察も協働して飲酒運転根絶運動キャンペーンを実施予定であり、Aコープ等4箇所の店舗でチラシや交通安全グッズの配布を予定している。

また12月15日には、地域安全モニターの方々と、特別警戒防犯キャンペーンを島内の銀行、郵便局、JA等で実施予定である。

その他、警察官による街頭活動を強化しつつ、交通違反取締りや夜間の飲酒検問等も実施予定である。

このように、犯罪抑止と交通事故防止に重点を置いた取組を予定しているが、「特にこの点に力を入れて欲しい。」などがあれば、御意見をいただきたい。

答申

- (委員) これからは時期は忘年会や新年会等、飲酒の機会が多くなる。
飲み会が終わる時間帯だけ飲酒検問等をするのではなく、飲み会へ行き来る時間帯にも行えば、飲酒運転の抑止に繋がるのではないか。
- (委員) 例年、年末年始になると増加傾向となる事件・事故があれば、それらに的を絞った抑止対策や取締りを行えばいいのではないか。
- (諮詢) 年末年始の各種事案の発生状況については、各集落ごとで異なると思われるため、それらに見合った取組も行っていきたいと考えている。
- (委員) そのため、各地域で「このような取組を行ってもらいたい。」などの意見があれば教示願いたい。
雪山での登山をめがけて来島する観光客がいる。
観光客に対しては、「雪が積もるから登山をしない方がいい。」と助言をするが、全く言うことを聞かない。
その結果、下山することができないといったケースが見受けられるため、登山客に対する雪山に関する注意喚起を行う必要がある。
- (回答) 観光客に対しては、今後、レンタカーカー会社と協働で、車両の貸出し時にチラシを配布するなどの注意喚起ができないか検討中である。
- (委員) 登山客の中には、登山届を出さない人も見受けられる。
事故がないことが一番ではあるが、何かあった時のためにも、登山時は必ず登山届を提出することを促すような取組をしてはどうか。

【警察署行政に対する意見・要望等】

- (委員) 県道上のカーブ付近にバスの停留所がある。
この停留所にバスが停車した際、カーブで見通しが悪いにもかかわらず、追従車両が対向車線にはみ出してバスを追い越すため、危険である。
バスの停留所を移動させた方がいいのではないか。
- (回答) バスの停留所の設置については、バス業者が設置しているため、警察で停留所を移動させることはできないが、バス業者に今回の意見・要望を伝えたいと思う。
- (委員) 県道に樹木が生い茂り、バスが樹木を避けようとして、対向車線にはみ出して走行することがある。
伐採関係は県へ申し入れしなければいけないことは分かっているが、屋久島は樹木の成長が早く、伐採しても直ぐに伸びるため、定期的に伐採してもらいたいと思っている。
- (委員) 今後も県に対して、伐採に関する要望を伝えようと思っている。
通学中の子供達が、歩道に草木が生い茂っているため、車道を歩く姿を見かける。
危険であったため、県へ申し入れて伐採等を行ってもらったことがある。
- (回答) 県も予算を取って、伐採等を行っているとのことであった。
警察署からも県へ連絡をしておくが、危険な状況等に気付いた際は、都度、県へ申し入れをするなどして、伐採に関する要望を伝えてほしい。

【警察活動視察等（山岳遭難救助関係の装備資機材及び訓練状況の視察）】

地域課長から屋久島山系や過去の救助事案、普段の訓練状況等について説明を行った後、実際に資機材を活用した救助要領や当署で使用している装備資機材を見学した。

備 考